

製品名: CYP26B1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09639**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	CYP26B1 CYP26A2 P450RAI2
別名	CYP26B1 CYP26A2 P450RAI2
遺伝子 ID	56603.0
SwissProt ID	Q9NR63
免疫原	アミノ酸配列範囲 391-440 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

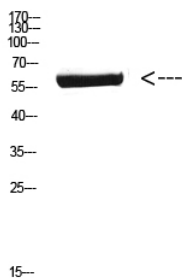
シトクロム P450 ファミリー 26 サブファミリー B メンバー 1 (CYP26B1) ホモサピエンス この遺伝子はシトクロム P450 スーパーファミリーのメンバーをコードします。シトクロム P450 タンパク質はモノオキシゲナーゼであり、薬物代謝やコレステロール、ステ

ロイド、その他の脂質の合成に関わる多くの反応を触媒します。コードされているタンパク質は小胞体に局在し、オールトランスレチノイン酸を特異的に不活性化してヒドロキシル化することにより、オールトランスレチノイン酸濃度の重要な調節因子として機能します。この遺伝子の変異は、橈骨上腕骨癒合症やその他の骨格および頭蓋顔面異常と関連しており、コードされているタンパク質のレベルの上昇はアテローム性動脈硬化性病変と関連しています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013年4月]補因子：ヘム基、酵素調節：以下の基質に対して優先的に活性を示す：all-trans-RA > 9-cis-RA > 13-cis-RA、機能：レチノイン酸代謝において重要な役割を果たします。all-trans-レチノイン酸 (RA) の特異的不活性化に関与し、4-OH-RA、4-oxo-RA、18-OH-RA など、RA のいくつかのヒドロキシル化形態の生成を担います。誘導：レチノイン酸による。類似性：シトクロム P450 ファミリーに属する。組織特異性：脳、特に小脳と橋で高発現している。

研究分野

レチノール代謝

画像データ



800 倍希釈の抗体を用いたマウス脳細胞のウエスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 倍希釈した。